

2021年9月15日

報道関係者各位

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan

医療従事者と被接種者とのコミュニケーションを支援する 「ワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンス」を公表

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan は、「ワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンス」を当会ホームページ上 (efpia.jp/vaccines_work/) で公表しました。

日本の予防接種において大きな課題であった世界とのワクチンギャップは、行政や製薬企業の取り組みにより、直近約 10 年間で大幅に改善されてきました。更に、新型コロナウイルス感染流行が続く中、新しいモダリティを用いた新型コロナウイルスワクチン（以下、COVID-19 ワクチン）の接種が本格的に実施されています。これらのワクチンは今までに人類が使用した経験が少ないため、また、新型コロナウイルスの感染力が高いこともあわせて、多くの国民はワクチンの有効性や安全性に関心を持ち、COVID-19 ワクチンに対する様々な情報に触れ、理解を深めて接種を受けているものと思われます。

EFPIA Japan は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、国民の健康と医療現場を守るため、乳幼児から高齢者まで全ての世代が感染症予防に取り組む環境づくり (Life course immunization) を推進しています。予防接種の意義を正しく理解して接種を受けられる環境を整えるためには、医療従事者と被接種者との間で双方向でとられるコミュニケーションが非常に重要です。そこで EFPIA Japan は、医師に加え、コミュニケーションの専門家のご協力を仰ぎ、今までにない「ワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンス」を作成しました。

「ワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンス」：二部構成

(第一部) 診察室でワクチン接種を行う時の対話事例

(第二部) 言語と非言語によるコミュニケーションガイドンスの詳細

ガイドンスへのリンク：http://www.efpia.jp/link/Vaccination_Communication_Guidance.pdf

第一部では、診察室でのコミュニケーションの対話事例を示し、その会話が意図するポイントを併記しています。第二部では、ワクチンの有効性や有害事象に関するコミュニケーションを含め、第一部をより詳細に説明しています。さらに、診察室や待合室での医療従事者の雰囲気作りについても紹介し、被接種者の皆様が漠然と抱えている不安や緊張を和らげるために必要な双方向のコミュニケーションについて提案しています。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

「ワクチン接種におけるコミュニケーションガイドンス」は、下記の専門家の方々のご協力を得て作成しました。

- ・岩田 敏 先生（国立がん研究センター 中央病院 感染症部 部長）
- ・岡部 信彦 先生（川崎市健康安全研究所 所長）
- ・釜沼 敏 先生（日本医師会常任理事）
- ・田中 幹人 先生（早稲田大学大学院 政治経済学術院 教授）
- ・永井 英明 先生（国立病院機構東京病院 感染症科部長）
- ・中山 久仁子 先生（マイファミリークリニック蒲郡 院長）

（五十音順）

EFPIA Japan は、ワクチン接種に関する医療従事者と被接種者との間のコミュニケーション向上の支援を通じて、予防接種の意義を理解して接種を受けられる環境づくりに寄与してまいります。

注記：記載に誤りがあり、下線部を修正しています。訂正のうえ、お詫び申し上げます。

欧州製薬団体連合会（EFPIA） Japan について (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 21社が加盟しています。2020年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約 23%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献すること”です。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

欧州製薬団体連合会 EFPIA（The European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations） について (<http://www.efpia.eu>)

ベルギーの首都ブリュッセルに本部を置く EFPIA は、欧州でビジネスを展開する製薬産業を代表する団体です。欧州各国の 36 の製薬業界団体や欧州で展開する 39 の大手製薬企業の会員を通して、世界の人々の健康と生活の質（QOL）を改善する新たな治療薬を研究開発し、患者に届けることにコミットしている欧州企業の声を代弁しています。

お問い合わせ先：

木戸口結子 EFPIA Japan 政策提言委員会

〒100-8268 東京都千代田区丸の内 1-6-5

バイエルホールディング株式会社

Tel: 03-6266-7757

Email: yuko.kidoguchi@bayer.com

EFPIA Japan

ThinkPark Tower, 2-1-1, Osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-6017, Japan

Tel: +81-3- 6417-2032 Fax: +81-3- 6685-4870